

## 新城市民病院での地域研修

研修期間:2017/10/09-11/05

豊橋市民病院 初期研修医

地域研修で新城市民病院に4週間の間研修させていただきました。この4週間、総合診療科の外来、訪問看護・リハビリ、作手診療所での研修、勉強会など数多くのことを学びました。

外来では主に初診を担当しました。普段の救急外来では、すぐに検査を行うことが多々ありましたが、本研修では問診や身体診察を丁寧に行うことで鑑別をしっかりと考え、その上で必要な検査をオーダーし、無駄な検査を行わないという、本来あるべき医療の姿勢を学ぶことができました。また、地域医療として患者さんの疾患だけでなく、その人を取り巻く社会背景や家族のことも含めた医療を行い、視野を広くもつことの大切さが勉強できました。救急外来では再診となることはほとんどないため、外来で最初から最後までフォローアップも行うことができ、その人の経過を追う貴重な経験ができました。

訪問看護やリハビリでは患者さんの自宅に行き、そこで看護、リハビリの手伝いをさせていただきました。いつもは病院でしか見られない患者さんを、自宅に行くことでその人の実際の社会的状況を知ることができ、今後患者さんを診た時に、具体的にどんな状況なのか想像しやすくなりました。

作手診療所では、より限られた資源の中での医療を目の当たりにしました。普段何気なく出していた薬がおいてなかったりして、そんな状況ならどうすることができるのか、より詳しい検査のために大きい病院に行くべきか、経過観察でいいのかなど色々なことを考え、結論を出すことの難しさが知れました。

毎日の勉強会では、多くの分野で勉強になりました。日々疑問に思ったことについて自分で調べて、それを全員で共有するという切磋琢磨しあう環境がとても素晴らしいと感じました。これまで論文検索やちょっとしたことを調べることもどのようにすればいいのかわからなかったのですが、先生方の検索方法や論文の読み方を教わり、今後はそれを基に自主学習や仲間たちと勉強内容について共有できればと思います。なかでも論文の読み方は衝撃でした。論文を読むとなると重い腰が上がらなかったのが、本研修を活かして気楽に読めるようになった気がします。

最後に、指導医の齋藤先生をはじめ、総合診療科の先生方、スタッフの皆様方には大変お世話になりました。未熟であるために多くのご迷惑をおかけしたとは思いますが、学んだことをしっかり持ち帰り今後の医療に活かしていきたいと思っています。